

コード	40105
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	水産加工業の推進
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	水産業の振興

課コード	116	関係課名
主管課名	水産課	

基本事業の目的

新鮮な魚介類などを用いた特産品づくりやブランド化のための調査及び研究開発、起業家の支援を行うことにより、水産加工業の推進を図ることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	水産加工・鮮魚のブランド化	成果指標名称 2	販売額
成果指標の積算根拠	ブランド化数／目標数値	成果指標の積算根拠	販売額／目標数値
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	10	目標達成数値	26,000

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	品目	4.0	4.0	4.0	5.0	7.0
	実績 B	品目	4.0	3.0	3.0	4.0	
	達成率 B/A	%	100.0	75.0	75.0	80.0	
成果指標2	目標 A	千円	18,000.0	19,000.0	20,000.0	21,000.0	22,000.0
	実績 B	千円	22,009.0	21,621.0	17,944.0	10,418.0	
	達成率 B/A	%	122.0	114.0	90.0	49.6	

1次評価	現状	「平成長崎俵物」に認定されている産品は、新魚目町漁協「水イカの一夜干し」1品目、有川町漁協「水イカー一夜干し」と「いか茶漬け」の2品目と、新たに(有)松園水産「むつの開き」が認定されて、計4品目となった。俵物以外でも上五島町漁協の「五島箱入り娘」や神部漁協の「まる神ブリ」など、鮮魚のブランド化に取り組んでいる特産品もある。
	課題	トビウオや水イカ(アオリイカ)などの加工原料の確保が難しいことと、生産業者の販売力に差があり、消費者のニーズに沿った生産・出荷体制が図られるかが課題である。
	改善	町のブランドとして、広く消費者のニーズに沿った原材料の確保や販売を展開していけるような支援体制を整え、事業者との共同での調査・開発に努める必要がある。

2次評価	新たな特産品づくりやブランド化を進めることにより、水産加工品の価値を高めるとともに、流通システムを確保して安定的な供給ができるよう図っていくこと。また販路の開拓等関係機関と協議を進め一体となった体制を構築していくこと。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。